



THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKOROZAWA

2025年10月 通巻 430号

今月のテーマ ASF (Alexander Scholarship Fund)



会長	小林 勉	クラブ会長主題 「人、出会い、交流」
副会長	岡部八千代	国際会長 A・シヤナヴァスカーン (インド) 「より良い世界のために、共に」
	澁谷弘祐	アジア太平洋会長 ジョウン・ウォン (香港) 「大きなインパクトを起こそう」
書記	宮地輝子	東日本区理事 山下 真 (十勝) 「ワイズらしさ再発見」
会計	金本伸二郎	関東東部部長 鈴木雅博 (江東) 「CHANGE (変革) 若者から発信！」

今月の聖句

「宝は天に積みなさい。そこでは、虫が食って損なうこともなく、盗人が忍び込んで盗み出すこともない。

あなたの宝のあるところに、あなたの心もあるのだ。」

マタイによる福音書 6章 20・21節

10月例会

10月11日(土) 18:00~20:00

場所: ふらっとJOY (大澤様宅)

第1部: 司会 金本伸二郎

開会点鐘 小林 勉

1 ワイズソング

2 ワイズの信条

3 聖書・祈り 金本伸二郎

4 YMCA 報告 太田総主事

5 ワイズ報告 小林 勉

6 閉会点鐘 小林 勉

第2部: 司会 宮地輝子

懇親会

一品持ち寄り又は参加費 1,000円

準備の都合上出欠をお知らせください

所沢ワイズメンズクラブのLINEで

宮地 TEL 090-8302-5495

所沢の4つのお祭り

小野塚勝俊

一昨年の10月に所沢市長の任を賜りまして、今年10月30日で2年となります。

市民の皆さまをはじめ、多くの方々にご理解・ご協力をいただいておりますことに心から感謝申し上げます。本当に有難うございます。

ところで今年10月は、所沢の大きなお祭り『ところざわまつり』と『所沢市民フェスティバル』が開催され、来年の4月、5月には、新たに『所沢航空発祥祭』、『日中国際アニメ映画祭』を初めて開催する予定です。是非、所沢の様々な魅力を感じられる「4つのお祭り」を楽しんでいただければ幸いです。

今年10月11日(土)、12日(日)には、毎年約20万人の方で大変に賑わう所沢を代表する伝統的な祭り『ところざわまつり』が開催されます。場所は、所沢駅周辺および所沢の中心市街地一帯です。そして今年は、5年に一度の「大祭」の年でもあります。5年前はコロナ禍の影響で中止となったため、10年ぶりの「大祭」となります。お祭りの大きな見どころ「山車の曳きまわし」も、例年の「10基」から「11基」になり、更なる盛り上がり期待されます。「バザールコーナー」「各町内会・商店会による出店」など多くの催物も行われ、街全体が熱気と興奮に包まれます！

また、同じく今年10月25日(土)、26日(日)には、所沢市最大級のイベントであります46回の歴史を数えます『所沢市民フェスティバル』が、所沢航空記念公園で開催されます。このフェスティバルは、市民の皆さまの心のふれあいと連帯感を高め、コミュニティづくりの推進を目指し、「市民手づくりの祭典」として、市民の皆さまのボランティアで構成される実行委員会により開催されます。「グルメ」「和太鼓」「ダンスステージ」「キッズコーナー」「フリーマーケット」なども行われ、毎年、市内外から大変多くの方々がお越しになります。

そして来年から新たに、4月5日(日)に『所沢航空発祥祭』を、5月26日(火)~5月30日(土)〈予定〉に

は、『日中国際アニメ映画祭』を開催する予定です！

『所沢航空発祥祭』は、所沢航空記念公園で開催。「日本の航空発祥の地」としての所沢を様々な催しで楽しめま
す。また、『日中国際アニメ映画祭』は、角川武蔵野ミ
ュージウムなど所沢市内の施設を中心に開催。日本最大級
のポップカルチャーの発拠点・ところざわサクラタウン
のあるまちとして所沢の新しい姿、未来を見つげられる
など、現在、様々な催しを検討しています。

私自身、所沢市長の任を賜っている者として、これか
ら多くの市民の皆さまとともに、所沢市の更なる発展、
魅力・価値向上に努めてまいります。是非、「4つのお祭
り」を楽しんでいただければ幸いです。

所沢市は引き続き、『可能性が広がるまち日本一』を目指
してまいります！

これからも、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

9月例会報告 岡部八千代

今回の例会は、村上 絢子氏の講演 9月13日(土)

14時～

演題「それぞれのカミングアウト」ハンセン病問題を理
解するために

講演や催事を行う際、主催者側が苦勞するのが人集めで
ある。折角の良い話なので一人でも多くの方々に出席い
ただきたいと願ひ、大澤さんがポスター配布、声掛けと
奔走してくれた。

その結果、前日までに42名の参加希望者があり安堵し、
当日を迎えた。すると何と53名の参加者を迎え、用意
した資料不足という嬉しい誤算が発生した。村上氏の御



主人で、亡き八重樫信之氏が撮影された写真を映しながら、
静かに丁寧に話され、参加者は話に引き込まれてい
った。村上氏の講演はハンセン病回復者のそれぞれのカ
ミングアウト。即ち、ご夫妻で関わったハンセン病回復
者の人生、活動の様子である。八重樫信之氏は1996
年から2024年の28年間の長きに渡って回復者の支
援活動を続けながら写真で記録してきた。その間日本の
療養所のみならず各国(インド、ネパール、韓国、台湾、
中国、米国)へも訪問した。更に、原告(元患者)が勝
訴を勝ち取った国賠訴訟問題にも関わってきた。正に2
8年間の活動を二人三脚で歩んでこられたのが当日の講
師村上絢子氏である。

今回紹介してくれたカミングアウトした多数のハンセ

ン病回復者の中で、私が一番強く印象に残ったのは森元
美代治・美恵子夫妻である。結婚しても結婚式を行わな
い療養所入所者が多い中で、夫妻は園内の教会でウェデ
ィングドレスとタキシード姿で式を挙げられた。二人の



美しくも厳しい目をした写真に圧倒させられた。更に、
インドでマザー・テレサにも会うこともでき、「徹子の部
屋」にも出演されるなど常に前向きに活動された姿が印
象的であった。その他に、「家族と一緒に写真を世に出す
のが社会復帰の第一歩」と撮影に応じた金城幸子(キン
ジョウ・サチコ)さん。彼女をモデルにした演劇も上映
されたそう。家族への偏見差別が計り知れない程大き
かった時代に、家族全員が彼女の想いを受け止め家族一
緒の撮影ができた事は金城さんにとってどんなに幸せ感
を感じ、家族の温かい支えを再確認したと想うのである。

私がハンセン病というと直ぐに頭に浮かぶのが松本清
張の「砂の器」である。村を追われ、流浪の旅にでたハ
ンセン病患者の父親とその息子。立ち寄る村々でも村人
に忌み嫌われ石を投げられ逃亡を続ける父子愛。過去を
抹殺し成功を成し遂げた息子の前に突然、現れた恩人を
殺害してしまう息子。ぼろを纏い親子で流浪する姿が何
とも悲しく人間の宿命の恐ろしさを感じた。その他にも、
カミングアウト後に画家、歌人、音楽活動、針灸師、作
家等々で社会復帰された方々の存在が紹介されたが、そ
れは嬉しい限りである。しかし、今の日本には、ハンセ
ン病のみならず、性差別、水俣病、人種差別、障がい者
差別、ヒバクシャ差別等々まだまだ偏見の眼、心が根強
く残っている。

村上氏が冒頭に、最初にハンセン病回復者に会った時、
彼らと握手するのに抵抗感があったし、頂いた漬物に手
が付けられなかった。その時、頭では分かっているも自
分の中に見えない差別感があったことを知らされたと言
われた。自分が同じ様な状況に遭遇した時、果たしてど
うだろうと考えた。やはり同じだったのではないかと思ひ、
心の底にある差別感と弱さを強く考えさせられた講演内
容であった。

講演終了後に質疑応答の時間を設けたが、時間の都合
で二人のみになってしまったのは残念であり感想用紙を
用意すべきであったと反省する。最後に講演会に参加し

ていただいた、全生園で専門医を務められていた並里まさ子先生から当時のご苦勞や厳しい現実をうかがうこともできた。参加された方々はハンセン病回復者の厳しい現実や偏見差別や国との闘いに向かう強い信念と団結力を改めて学んだと想った。きっと、会場のどこかでご主人の八重樫信之氏も「よしよし。頑張れよ」と笑顔で講演を聴かれていたと想った。

講演会後に大澤さんへ感想のメールが14名から来た。更に村上さんの元にも全生園見学の計画、台湾からの写真展のオファー、山形でも写真展とギャラリートークの開催の希望等の連絡があったそうで、その反響の大きさに計画した側としても嬉しい気持ちで一杯になり今後の村上氏の活躍が楽しみである。

ワイズ報告 小林 勉

★9月の例会は9月13日にYMCA子育て子育てセンターにおいて、YMCA プール会員の村上絢子さまから「それぞれのカミングアウト」(ハンセン病と関わって28年)と題された講演を視聴しました。

村上さんのプール会員が13人、ワイズメンズクラブ10名、狭山市議会議員さんや朝日新聞OBの方、村上さんのご友人など、合計53名の来場をいただき、成功裏に終わりました。

講演された村上さん、参加された皆さんに厚く御礼申し上げます。

★東日本区のハンドブック&ロースターの更新作業を行いました。

当クラブから3部注文しております。

ご覧になりたい方がおりましたらいつでも貸し出しますので、小林まで申し込みください。

★9月20日(土)東京YMCA主催の災害スタディーに所沢クラブから大澤さんと宮地さんが参加しました。

YMCA 報告 (埼玉 YMCA 総主事) 太田 聡

厳しい暑さも和らぎ、朝晩には秋の気配を感じる季節となりました。9月のYMCAは夏のプログラムを終え、通常の活動に戻っています。

9月15日には、埼玉YMCA職員全体研修を実施しました。これは年に一度、全職員が一堂に会し「ともに学び、ともに交流を深める」大切な機会です。

当日は、桜井徹さんによる奨励、川越センター職員によるアイスブレイク、YMCAオンライン研修システムを用いた「YMCAとは何か」の学びが行われました。また、代表理事・吉野勝三郎さんから「カイゼン」についての講話がありました。

さらに、この夏に行われた協働事業の報告もありました。

- 茨城YMCA：着衣泳、栃木YMCA：体操合同合宿(報告：深田さん)
- 群馬YMCA：サマーキャンプ(報告：小湊さん)
- 横浜YMCA：ゲーム依存症治療キャンプ(報告：太田)
- YMCAキャンプ・コリンズ(米国)との国際キャン

プ(報告：ジャレットさん)

最後に、秋の大きな行事である11月3日のチャリティラン、11月23日のフェスティバルの案内があり、研修は終了しましたが普段は部門やセンターごとに離れて



働く職員が、同じ場に集まり、YMCAらしい学びと交流を持つことができた、充実した一日となりました。

災害スタディー 大澤和子

「東京YMCA主催の災害スタディー」に参加しました。

まず、災害協働サポート東京の福田信章氏から、災害時に求められる地域協働についてのお話を伺いました。その後、立場や性別、年齢の異なるメンバーでグループ



を組み、小一時間の防災街歩きを行いました。

私たちのグループは、社会福祉協議会のお二人、生命保険会社の方、江東区ボランティア連絡会の方、そして所沢クラブから宮地さんと大澤の6名でした。何度も訪れていた東京YMCAまでの街並みですが、防災の視点で歩いてみると、多くの設備や工夫に気づかされました。

街歩きの後は、非常食のカレーライスを試食しながら感想を分かち合い、さらに簡易トイレや「ほのぼのあかり」作りも体験しました。

学びを共有し合う中で、「自分の街でもぜひ取り入れてみたい」と思える有意義な一日となりました。」

今後の予定 宮地輝子

- 10月1日(水) ブリテン発行(一面小野塚)
- 10月11日(土) 例会(暑気払い例会)18:00~
ふらっとJOY(大澤様宅)
参加費 一品持ち寄り又は1,000円
10月例会報告 宮地
- 11月1日(土) ブリテン発行(一面岡部)
- 11月3日(月) チャリティラン

9月例会	所沢クラブ6名	コメント1名
	メネット1名	ゲスト45名